

## 第六〇回

熊本城（熊本県熊本市）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

熊本市賞

漱石の月給百円銀杏の実

福岡県大牟田市 本田 守親

特選三句

城の月路面電車の車窓より

愛知県名古屋市 李哲宇

秋来る想い俳句に収まらず

福岡県福岡市 西村 柚香

人の列酷暑にまさる熊本城

熊本県熊本市 角田 舞句

投句総数 五十二句

開函日 令和七年十月三十一日

## 第六〇回

### 法隆寺周辺（奈良県斑鳩町）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

#### 奈良・斑鳩町賞

弾き手なきギターは壁に晩夏光

奈良県生駒郡平群町 藤田 政江

#### 特選三句

待った無し県境ゆく鰯雲

大阪府大阪市 青雨 青緒海

栞もて聖書閉ぢるる夜の秋思

奈良県天理市 松田 吉上

悠久の刻に色刺す柿紅葉

東京都八王子市 三瓶 三智子

投句総数 五十六句

開函日 令和七年十月三十一日

## 第六〇回

博物館明治村（愛知県犬山市）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

子規はいく賞三句

明治村もみじの森を通り抜け

岐阜県羽島郡岐南町 森 喜久

案内は名古屋弁なも冬ぬくし

愛知県名古屋市 鈴木 薫

宵祭監獄の灯の美しく

愛知県名古屋市 石黒 奈緒子

特選三句

法師蟬迎えてくれし明治村

神奈川県厚木市 福田 三郎

あちこちに花の流れる秋日傘

岐阜県各務原市 伊藤 敦

明治なり秋の風鈴鳴ることも

愛知県犬山市 有本 仁政

投句総数 四十一句

開函日 令和七年十月三十一日

## 第六〇回

子規庵（東京都台東区）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

特選三句

読めぬ句碑四人で睨む子規忌かな

千葉県松戸市 二見 京兎

子規庵の秋気急なる忌日かな

東京都三鷹市 櫻庭 寛

子規庵の床の間に置く新走り

東京都町田市 梅木 くに子

投句総数 四十三句

開函日 令和七年十月三十一日

## 第六〇回

記念艦「三笠」(神奈川県横須賀市)

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

特選三句

凱旋の船旗色あせ秋の風

神奈川県横須賀市 齋藤 秀一

夏の果三笠の砲に熱残し

東京都立川市 小町 麻子

秋深し三笠に乗つて知る歴史

東京都北区 岡崎 守利

投句総数 八十句

開函日 令和七年十月三十一日

## 第六〇回

大和ミュージアム（広島県呉市）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

特選二句

夏の風山から呉の海原へ

広島県福山市 田坂 颯都

蟬時雨藍の郷愁呉の夕

東京都文京区 大脇 優治

投句総数 十六句

開函日 令和七年十月三十一日

## 第六〇回

歴史博物館・漱石公園（東京都新宿区）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

### 特選三句

漱石と猫と新宿厄日前

東京都稲城市 萩原 一志

主亡き象舎の前に朴の花

東京都多摩市 杉浦 孝子

食べらるる草を知る母終戦日

千葉県流山市 白井 飛露

投句総数 三十七句

開函日 令和七年十月三十一日



## 第六〇回

鶴ヶ城（福島県会津若松市）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

### 特選三句

鶴ヶ城残暑厭わぬ園児隊

福島県会津若松市 多田 敬一

鶴ヶ城照る白壁に蟬の声

大阪府大阪市 高井 勇一郎

はしご酒赤べこゲットの夜の秋

茨城県土浦市 池田 照代

投句総数 三十一句

開函日 令和七年十月三十一日

## 第六〇回

東松山市（埼玉県東松山市）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

### 特選三句

青りんごフランス綴じの童話本

埼玉県川越市 吉野 敬子

無花果の甘き故郷の遠くなり

埼玉県川越市 小川 房子

登山靴ゆるめてからのにぎり飯

埼玉県東松山市 新井 基文

投句総数 七〇句

開函日 令和七年十月三十一日

## 第六〇回

羽二重団子本店（東京都荒川区）

「愛媛若葉」主宰 高岡 周子 選

俳句のまちあらかわ賞

頭より最中の猫を食ふ子規忌

東京都三鷹市 櫻庭 寛

特選三句

月光やヨガのポーズで深呼吸

東京都荒川区 谷井 千絵

勝ちとんぼどちらの球児に飛んでゆく

神奈川県横浜市 今田 勝之

猛暑日や猛獣の檻気配無し

埼玉県春日部市 池田 洋子

投句総数 三十二句

開函日 令和七年十月三十一日